

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-116083 (P2020-116083A)
 【公開日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-031
 【出願番号】特願 2019-8955 (P2019-8955)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 17 日 (2021.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記目的を達成するために、以下に示すような、遊技機が提供される。遊技機は、プロセッサを含む集積回路と、検査の用に供し遊技制御の用に供しない検査用コネクタを含むコネクタと、カラーコードによって定格を表示する受動素子と、を実装する矩形の基板と、部品実装面を視認可能にして基板を収容する収容ケースを備える。収容ケースは、基板の部品実装面を覆う第 1 ケース部と、第 1 ケース部に係合する第 2 ケース部と、第 1 ケース部と第 2 ケース部を所定情報が表示された封止手段により封止する封止部と、を含む。基板は、プロセッサと検査用コネクタを当該基板の所定の一边からの距離を異ならせて実装し、プロセッサに、特定情報を表示する付票を貼付する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 4 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 4 9 6】

図 5 7 (1) に示す遊技制御基板 5 1 0 は、所要数のコネクタ 5 3 0 a , 5 3 0 b を部品実装面に備えるとともに、部品 5 4 0 として所要数の抵抗 5 4 1 , 5 4 2 を所要の向きで部品実装面に備える。遊技制御基板 5 1 0 は、基板ボックス 5 2 0 に収容されて、封止部 5 2 5 で封止シール 5 2 5 2 によって封止される。また、基板ボックス 5 2 0 は、その表面に管理番号シール 5 2 0 7 を貼付する。管理番号シール 5 2 0 7 は、ベースを透明素材として部品実装面を確認容易にしながら、所要の情報を表示する。たとえば、管理番号シール 5 2 0 7 は、所要の情報として管理コード 5 2 0 8 を表示する。たとえば、管理コード 5 2 0 8 は、2 次元コード（たとえば、QR コード（登録商標）等）を表示する。管理コード 5 2 0 8 は、パターン中に現れるアライメントパターンを右下側に表示する表示態様によって管理コード 5 2 0 8 の正位置を明示する。たとえば、管理コード 5 2 0 8 は、図示下側を下に見る向きを正位置（管理コード基準）とする

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロセッサを含む集積回路と、検査の用に供し遊技制御の用に供しない検査用コネクタを含むコネクタと、カラーコードによって定格を表示する受動素子と、を実装する矩形の基板と、部品実装面を視認可能にして前記基板を収容する収容ケースと、を備える遊技機であって、

前記収容ケースは、

前記基板の部品実装面を覆う第 1 ケース部と、前記第 1 ケース部に係合する第 2 ケース部と、前記第 1 ケース部と前記第 2 ケース部を所定情報が表示された封止手段により封止する封止部と、を含み、

前記基板は、

前記プロセッサと前記検査用コネクタを当該基板の所定の一辺からの距離を異ならせて実装し、

前記プロセッサに、特定情報を表示する付票を貼付する、
遊技機。